# 毛呂山町版スーパーシティ構想
# 地域まちづくり計画

毛呂山町マスコットキャラクター
もろ丸くん

令和5年3月

毛呂山町

# 取組の概要

## まちづくりにおける課題

毛呂山町は、西部に広がる森林と豊かな自然、里山環境、河川に沿う平坦地に田園農地が広がる東部地域、鉄道沿線に形成された住宅市街地と目白台地区の新市街地、郊外の農業集落地といった、明瞭でコンパクトに集約された田園都市が特徴となっています。

全国的な傾向ですが、近年、人口減少や少子高齢化の進行、産業の停滞に伴う都市の活力の低下などが懸念される一方、社会経済状況の変化や地方分権の進展に伴い、効率的な行財政運営や効果的な事業投資に基づく、戦略的かつ持続可能なまちづくりが求められています。

## まちづくりの方向性

本町の将来の都市構造は、地域の特性があらわれている現在の都市構造を損なうことのないよう、豊かな自然と農の風景や快適な暮らしを支える都市空間が調和し、地域が連携し、周辺都市も含め有機的にネットワークされた、コンパクトで一体感のある集約型都市構造の形成を目指します。

■都市をネットワークする軸の形成
■都市の発展を支える拠点の形成
■ゾーン区分による秩序ある土地利用の形成

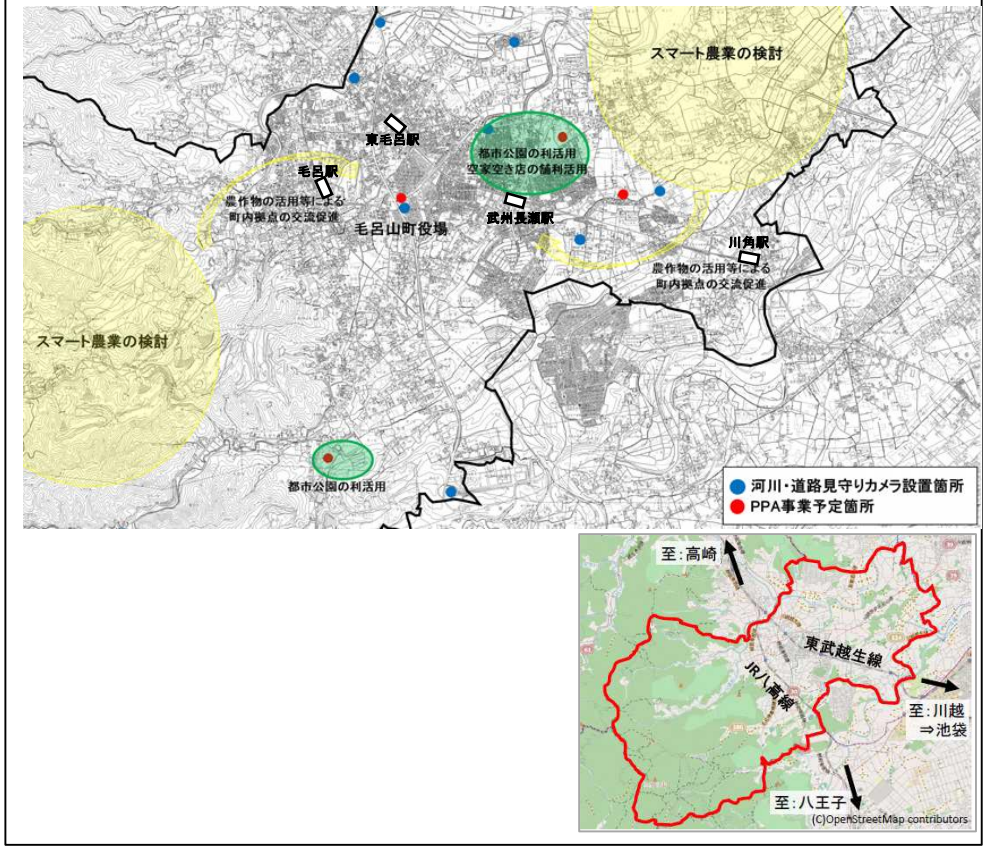
## 他の計画における位置付け

・第五次毛呂山町総合振興計画　後期基本計画
・第2期毛呂山町総合戦略
・毛呂山町都市計画マスタープラン
・毛呂山町立地適正化計画
・毛呂山町住宅市街地総合整備計画
・毛呂山町スマートシティ実行計画

## 対象地域の位置及び区域

町内全域

### 地図



# 地域の現況

## 人口・世帯の状況

本町の総人口（国勢調査）は、1995（平成7）年の39,808人をピークに減少傾向に転じ、直近の2020（令和2）年には35,366人となり、約10%減少している状況です。

高齢化率は、現在（令和3年4月1日）の34.6%から、国立社会保障・人口問題研究所によると、 2040（令和22）年には44.6%となる見込みです。

なお、世帯数では、1995（平成7）年に13,380世帯であったのが、2020（令和2）年には15,764世帯と増加しているが、近年、横ばい傾向にあり、核家族化が緩やかに進行しつつあります。

## 地域交通の状況

本町は、市街地を南北に縦貫、東部方面を東西に結ぶ幹線道路を主軸とした広域的な道路ネットワークが形成されています。都市計画道路は計11路線、40.8%の整備率となっています。

また、2本の鉄道路線と4つの駅が立地し、近年、町内循環バスの運行など公共交通の充実が図られています。（平成21年10月1日から、高齢者などの日常生活を支援するため、また公共施設の利便性の向上を目指し、町内循環バスの運行を開始しています。）

## 開発の状況

本町のまちづくりは、市街化区域における行政による基盤整備が落ち着き、今後は維持管理にシフトする必要があります。その基盤整備がなされた市街化区域に居住地が広がりDIDとなっているものの、そこでの人口密度は減少傾向にあります。その一方で、市街化調整区域における開発圧力も確認されているという状況です。

今後は、中心市街地における人口密度の低下傾向と、市街化調整区域おける開発圧力の傾向を分析し、本町の将来都市像を模索する必要があります。また、今後予想される厳しい財政状況を鑑みると、新たな都市基盤整備は将来都市像の実現に資するものに限定されるべきです。したがって、すでに基盤整備がなされた市街化区域への居住誘導により、効率的な都市経営を目指す必要があります。

## 地域資源

本町は、西に黒山自然公園の緑の中に里山が広がり、東に越辺川や葛川の周辺にのどかな田園地帯が広がり、豊かな自然環境に恵まれています。また、首都圏約50km圏内に位置することから、ベッドタウンとしての性格も併せ持っています。このような要因により本町は、自然環境と都市機能が調和した都市として発展し、現在に至っています。

本町の産業は、第三次産業が基幹産業となっています。商業、工業はともに停滞し伸び悩んでいます。農業は、ゆずが特産品となっていますが、農業就業者数の高齢化や後継者不足など営農環境は厳しい状況にあります。一方、観光の入込観光客数は微増ながらも年々増加傾向にあります。

# まちづくりのコンセプトと事業全体の概要

## まちづくりのコンセプト

・スマート技術の活用による「暮らし・産業の高度化」を通じた町民一人一人に寄り添う“Well-Being（幸福度）の向上” ～地域活性化とスマート技術による利便性の向上～を目指します。
・毛呂山町立地適正化計画に基づき、中心市街地活性化事業を進めるとともに、毛呂山町都市計画マスタープランに基づいた土地利用の適正化検討を行うなど、コンパクト・プラス・ネットワークを強化し、エリアの価値向上を目指します。
・まちの抱える諸課題に対して、ICT等の新技術を活用しつつ、計画、整備、管理、運営を行い、持続可能なまちづくりを目指します。
→「毛呂山町スマートシティ先行モデル事業」として、令和元年5月に国交省モデルプロジェクトに採択されています。地域課題解決に先進技術を単独先行導入するのではなく、自治体職員や住民が先進的な取り組みを自分事として捉えることができ、積極的に必要な専門知識・高度な未来技術を習得・実行をする、ヒトのアップデートにより推進するスマートシティ化を目指しています。

## 推進体制

・「毛呂山町スマートシティ事業」を円滑に進め、まちにスマートシティを実装するため、産官学金による毛呂山町スマートシティ協議会を設立し、事業の計画、整備、管理、運営を確認しています。毛呂山町スマートシティ協議会は、年1回の総会を中心に、年に数回の意見交換会を実施しています。

## 事業全体の概要

**【コンパクト】都市公園・空き家空き店舗を拠点とした地域の交流及び活性化**

・都市公園における地域の交流及び活性化拠点の形成を図る。
・空き家・空き店舗の除却・利活用などにより、防火性を高めると共に、中心市街地活性化を促進する。
・空き店舗の有効活用を通して移住及び定住の促進による地域活性化を図り、町内外から人々が集う拠点を形成しポストコロナに順応した地域経済循環を生み出す。

**【スマート】スマート技術の活用を通じた安全安心の持続可能なまちづくり**

・ICT技術を活用したインフラの維持管理を目指す。
・スマート農業推進による生産性向上を目指す。
・3D都市モデルを活用しヒトやモノの動き（交通流量、交通危険箇所、災害発生時の避難行動データ等）を可視化する。

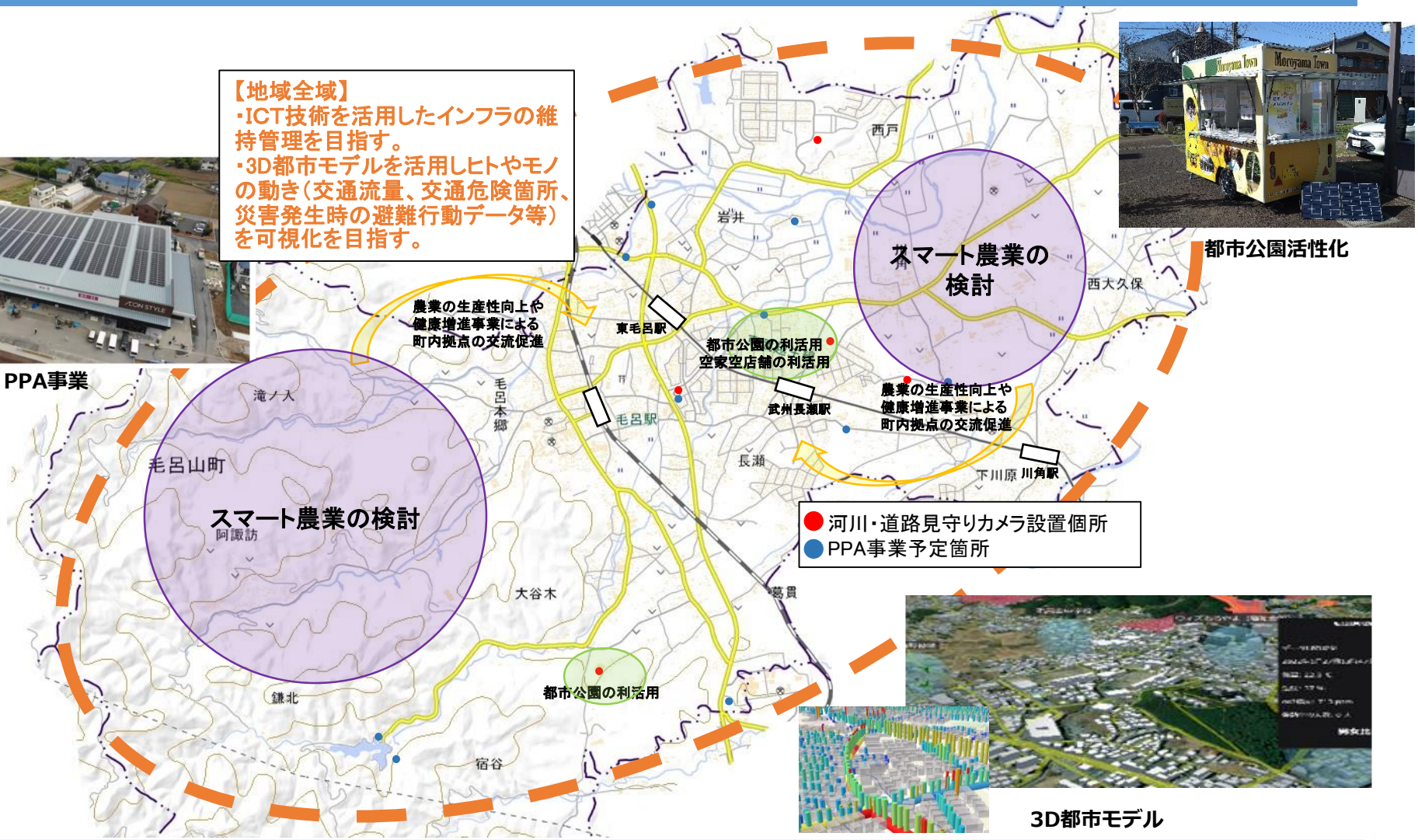
**【レジリエント】災害被害に対するレジリエントの強化**

・町内公共施設における太陽光と蓄電池等の設置によるエネルギーセキュリティの向上を図る。
・まちづくり会社が行う再生可能エネルギーの地産地消を目的としたPPA事業を通して、エネルギーセキュリティの向上を官民連携で目指す。
・災害時におけるケーブルテレビを活用した情報発信による安全安心の確保を図る。

# 毛呂山町版スーパーシティ構想

【地域全域】
・ICT技術を活用したインフラの維持管理を目指す。
・3D都市モデルを活用しヒトやモノの動き（交通流量、交通危険箇所、災害発生時の避難行動データ等）を可視化を目指す。

PPA事業




都市公園活性化

3D都市モデル

| | |
|---|---|
| 概要 | スマート技術の活用による「暮らし・産業の高度化」を通じた町民一人一人に寄り添う“Well-Being（幸福度）の向上”　～地域活性化とスマート技術による利便性の向上～ |

# 【コンパクト】事業一覧

| 事業名 | 実施主体 | 事業内容 | スケジュール | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8以降 | |
| ・都市公園における地域の交流及び活性化拠点の形成 | 町<br>民間事業者 | ・都市公園にキッチンカーを設置し、ビジコンで採択した事業者を中心にマルシェ等の賑わいを創出する。また、都市公園においても、ICTを活用したウォーキングによる健康づくりを推奨し、Well-Being(幸福度)の向上を目指す。 | ビジネスコンテスト開催 | ビジネスコンテスト開催<br>キッチンカーによる賑わい創出 | キッチンカーによる賑わい創出 | ビジネスコンテスト開催予定<br>キッチンカーによる賑わい創出 | キッチンカーによる賑わい創出 | ビジネスコンテスト開催予定<br>キッチンカーによる賑わい創出 | ・キッチンカーの購入<br>・地方創生推進交付金の活用<br>・まちづくり会社にて中小企業庁の補助金を活用 |
| ・中心市街地の防火性向上及び活性化 | 町<br>民間事業者 | ・空き家・空き店舗の除却・利活用などにより、防火性を高めると共に、中心市街地活性化を促進する。 | 空き家・空き店舗の除却等 | 空き家・空き店舗の除却等 | 空き家・空き店舗の除却等 | 空き家・空き店舗の除却等 | 空き家・空き店舗の除却等 | 空き家・空き店舗の除却等 | 住宅市街地総合整備事業(密集住宅市街地整備型)(国)の活用 |
| ・空き店舗の有効活用による商店街等の賑わい創出及び活性化 | 町<br>民間事業者 | ・空き店舗の有効活用を通して移住及び定住の促進による地域活性化を図り、町内外から人々が集う拠点を形成しポストコロナに順応した地域経済循環を生み出す。 | 空き店舗の利活用に係る創業支援 | 空き店舗の利活用に係る創業支援 | 空き店舗の利活用に係る創業支援 | 空き店舗の利活用に係る創業支援 | 空き店舗の利活用に係る創業支援 | 空き店舗の利活用に係る創業支援 | 毛呂山町空き店舗利活用創業チャレンジ支援補助金の活用 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

# 【スマート】事業一覧

| 事業名 | 実施主体 | 事業内容 | スケジュール | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8以降 | |
| ・ICT技術を活用したインフラの維持管理 | 町<br>民間事業者 | ・交通流量データ等を活用したインフラの維持管理を目指す。<br>・ドローンを活用した橋梁点検（ドローンによる情報収集、点検AIのディープラーニング解析による精度の向上）を検討する。 | インフラ維持管理<br>概要協議<br>橋梁点検<br>概要協議 | インフラ維持管理<br>実証実験<br>橋梁点検<br>実証実験 | | | 運用 | | 国交省スマートシティモデル事業の補助を活用 |
| ・スマート農業による遊休農地の活用及び町内産業の活性化（コンパクトとのリンク） | 民間事業者 | ・ドローンの定点観測で鳥獣の発見若しくは痕跡を空撮しマッピングを行い、その情報を基に予測をすることで鳥獣被害の軽減を目指す。<br>・ICT技術を活用し農作業を支援し、生産性向上を目指す。 | ドローンを活用した鳥獣対策<br>実証実験<br>スマート農業の検討 | | | | | | 補助金等を検討中 |
| ・3D都市モデルを活用しヒトやモノの動き（交通流量、交通危険箇所、災害発生時の避難行動データ等）を可視化 | 町<br>民間事業者 | ・3D都市モデル構築し、様々なデータを重畳、ユースケースの蓄積により、都市活動のシュミレーション実施を目指す。 | ３Ｄ都市モデル<br>構築 | ３Ｄ都市モデル<br>体験事業<br>防災DX実証実験 | 都市公園<br>実証実験 | データ活用事例開発 | | | 国交省スマートシティモデル事業の補助を活用 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

# 【レジリエント】事業一覧

| 事業名 | 実施主体 | 事業内容 | スケジュール | | | | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | R3 | R4 | R5 | R6 | R7 | R8以降 | |
| ・町内公共施設における太陽光と蓄電池の設置によるエネルギーセキュリティの向上 | 町 | 町内施設（学校給食センター・本庁舎）に太陽光発電を設置しPPA事業を推進。蓄電池等を併せて設置し、レジリエントの強化を目指すもの。 | 詳細協議（学校給食センター） | | 契約・施行 | 運用 | | | 蓄電池の導入<br>環境省補助金を検討 |
| | | | | | 詳細協議（本庁舎） | | | 契約・施行 | |
| ・まちづくり会社が行う再生可能エネルギーの地産地消を目的としたPPA事業を通して、エネルギーセキュリティの向上を目指すもの。 | まちづくり会社 | まちづくり会社が、株主である金融機関と協力し、民間施設屋根上へ太陽光パネルを設置し、PPA事業を通して、災害時でも電力の供給が可能な拠点確保を目指すもの。 | 詳細協議 | 契約・施行 | 運用 | | | | 民間事業者による事業<br>町内事業者の開拓 |
| ・災害時におけるケーブルテレビを活用した情報発信による安全安心の確保 | 町 | 町内の道路河川にカメラを設置し、町HPやケーブルテレビを通して情報発信しレジリエンスの強化を図るもの。 | 実証実験報告会開催 | 運用 | | | | | 埼玉県地域経済牽引事業創出補助金 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

# KPI

| コンセプト | 指標 | 基準値（調査時点） | 目標値（達成年度） | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| コンパクト | 20年後における空き家率 | 19．8%<br>（H25住宅土地統計調査） | 15%<br>（R17） | 毛呂山町立地適正化計画 |
| コンパクト | 20年後における居住誘導区域における人口密度 | 65人／ha<br>（H27市街化区域人口密度） | 65人／ha<br>（R17） | 毛呂山町立地適正化計画 |
| スマート | 毛呂山町新規進出企業数：10社（2030年） | ― | 10社<br>（R12） | 毛呂山町スマートシティ実行計画 |
| レジリエント | 災害時でも電力の供給が可能な拠点確保 | ― | 3か所（R12） | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |